

Autodesk®
Mudbox®

2013



Autodesk®

インストレーション ヘルプ

Autodesk® Mudbox® 2013

© 2012 Autodesk, Inc. All Rights Reserved. Except as otherwise permitted by Autodesk, Inc., this publication, or parts thereof, may not be reproduced in any form, by any method, for any purpose.

Certain materials included in this publication are reprinted with the permission of the copyright holder.

Trademarks

The following are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and other countries: 123D, 3ds Max, Algor, Alias, Alias (swirl design/logo), AliasStudio, ATC, AUGI, AutoCAD, AutoCAD Learning Assistance, AutoCAD LT, AutoCAD Simulator, AutoCAD SQL Extension, AutoCAD SQL Interface, Autodesk, Autodesk Homestyler, Autodesk Intent, Autodesk Inventor, Autodesk MapGuide, Autodesk Streamline, AutoLISP, AutoSketch, AutoSnap, AutoTrack, Backburner, Backdraft, Beast, Beast (design/logo) Built with ObjectARX (design/logo), Burn, Buzzsaw, CAiCE, CFdesign, Civil 3D, Cleaner, Cleaner Central, ClearScale, Colour Warper, Combustion, Communication Specification, Constructware, Content Explorer, Creative Bridge, Dancing Baby (image), DesignCenter, Design Doctor, Designer's Toolkit, DesignKids, DesignProf, DesignServer, DesignStudio, Design Web Format, Discreet, DWF, DWG, DWG (design/logo), DWG Extreme, DWG TrueConvert, DWG TrueView, DWFX, DXF, Ecotect, Evolver, Exposure, Extending the Design Team, Face Robot, FBX, Fempro, Fire, Flame, Flare, Flint, FMDesktop, Freewheel, GDX Driver, Green Building Studio, Heads-up Design, Heidi, Homestyler, HumanIK, IDEA Server, i-drop, Illuminate Labs AB (design/logo), ImageModeler, iMOUT, Incinerator, Inferno, Instructables, Instructables (stylized robot design/logo), Inventor, Inventor LT, Kynapse, Kynogon, LandXplorer, LiquidLight, LiquidLight (design/logo), Lustre, MatchMover, Maya, Mechanical Desktop, Moldflow, Moldflow Plastics Advisers, Moldflow Plastics Insight, Moldflow Plastics Xpert, Moondust, MotionBuilder, Movimento, MPA, MPA (design/logo), MPI, MPI (design/logo), MPX, MPX (design/logo), Mudbox, Multi-Master Editing, Navisworks, ObjectARX, ObjectDBX, Opticore, Pipeplus, Pixlr, Pixlr-o-matic, PolarSnap, PortfolioWall, Powered with Autodesk Technology, Productstream, ProMaterials, RasterDWG, RealDWG, Real-time Roto, Recognize, Render Queue, Retimer, Reveal, Revit, RiverCAD, Robot, Scaleform, Scaleform GFx, Showcase, Show Me, ShowMotion, SketchBook, Smoke, Softimage, SoftimageXSI (design/logo), Sparks, SteeringWheels, Stitcher, Stone, StormNET, Tinkerbox, ToolClip, Topobase, Toxik, TrustedDWG, T-Splines, U-Vis, ViewCube, Visual, Visual LISP, Voice Reality, Volo, Vtour, WaterNetworks, Wire, Wiretap, WiretapCentral, XSI.

ACE™, TAO™, CIAO™, and CoSMIC™ are copyrighted by Douglas C. Schmidt and his research group at Washington University, University of California, Irvine, and Vanderbilt University, Copyright (c) 1993-2009, all rights reserved.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

FFmpeg is a trademark of Fabrice Bellard, originator of the FFmpeg project.

Python is a registered trademark of Python Software Foundation.

All other brand names, product names or trademarks belong to their respective holders.

Disclaimer

THIS PUBLICATION AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN IS MADE AVAILABLE BY AUTODESK, INC. "AS IS." AUTODESK, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE REGARDING THESE MATERIALS.

目次

第 1 章	Autodesk Media & Entertainment 製品をインストールする	1
	インストールの概要	1
	インストールの準備	1
	インストールの種類を選択する	2
	製品の言語を変更する	3
	ライセンスを指定する	4
	環境設定とインストール	5
	製品のアクティベーションを行う	6
	配置を作成する	7
	よくある質問と回答	8
	シリアル番号やプロダクト キーを紛失するとどうなりますか?	8
	なぜ、製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか?	8
	Web サイトからオートデスク製品をインストールできますか?	8
	試用ライセンスは、製品スイートまたはバンドルでどのように動作するのですか?	9
	ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうすればよろしいですか?	9

インストールのあと、製品のライセンス情報はどこで確認できますか?	9
インストールのあと、どうすれば製品の環境設定を変更したり、製品を修復またはアンインストールできますか?	10

第 2 章	付録: Autodesk Mudbox をインストールする	11
	Autodesk Mudbox 2013 固有のインストール情報	11
	32 ビット版の製品を 64 ビット オペレーティング システムにインストールする	11
	Mac OS X に Mudbox をインストールする	12
	Linux に Mudbox をインストールする	14
	Mudbox ヘルプをローカルにインストールする	18
	Mac OS X または Linux の Mudbox をアンインストールする	22
	その他の Mudbox リソース	23
	索引	25

Autodesk Media & Entertainment 製品をインストールする

1

インストールの概要

次の図は、インストール処理の主要部分を示しています。



詳細は、以降のセクションに示します。

インストールの準備

インストールを開始する前に、次の事項を確認してください。

- ご使用のコンピュータが最低限の動作環境を満たしていることを確認してください。不安がある場合は、インストーラウィンドウの一番下に表示されている[動作環境]をクリックしてください。
- インストールの種類(スタンドアロンまたはネットワーク)やインストールする製品などの詳細を把握するには、製品のドキュメントを参照してください。ド

キュメントには、インストーラの左下コーナーのリンクからアクセスできません。

インストレーション ヘルプ | 動作環境 | Readme

- インストールするユーザのユーザ名が、アプリケーションをコンピュータまたはネットワークにインストールするために必要な管理者の権利を持っていることを確認してください。
- インストールするすべての製品のシリアル番号とプロダクトキーを入手します。これらは製品のパッケージに記載されているか、ソフトウェアをダウンロードしたときに提供されます。
- 実行しているすべてのアプリケーションを閉じます。

インストールの種類を選択する

ここには、正しい方針の選択に役立つ基本的な情報が記載されています。

- **[インストール]**は、個人ユーザまたは小規模なグループに適しています。重要な点は、それぞれのコンピュータに対して、インストール作業を繰り返すこととなる点です。これは、スタンドアロンライセンスにとっては唯一の有効なインストールの種類です。しかし、マルチシートスタンドアロンやネットワークライセンスで使用することもできます。
- **[配置を作成]**は、マルチシートスタンドアロンまたはネットワークライセンスを使用するネットワーク管理者に適しています。配置の作成処理では、インストールは1度だけ環境設定され、ネットワーク上に保存されます。その後、ユーザのコンピュータに効率的に配布されます。
配置の詳細は、[「配置を作成する」](#) (7 ページ)または『ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。
- **[ツールとユーティリティ]**は、スイートまたは製品に関連するツールやユーティリティをインストールするために使用します。オートデスク製品のネットワークライセンスを所有している場合、ユーザが製品を実行できるようにするには、このオプションを使用して **Network License Manager** をインストールする必要があります。使用できる有益なツールやユーティリティを見分けるには、ご使用のスイートまたは製品のドキュメントを参照してください。

インストーラの言語を選択する

インストーラの最初の画面で、右上のこのコントロールを使用して、インストーラの画面に表示される言語を選択することができます。



いくつかのオートデスク製品では、インストール作業の後半に、インストールする製品の言語を選択することができます。詳細は、「[製品の言語を変更する](#)」(3 ページ)を参照してください。

製品の言語を変更する

重要: 以下の記述は、個別のメディアで提供されるそれぞれの言語バージョンのオートデスク製品には適用されません。これらの製品では、言語を変更することはできず、購入時に製品の言語を指定する必要があります。

いくつかのオートデスク製品では、インストーラのドロップダウン メニューを使用して、インストール時に製品の言語を選択することができます。



言語選択メニュー

このメニューに希望の言語がない場合、使用可能なオプションはオートデスク製品によって異なります。多くの製品(3ds Max、Inventor、すべての AutoCAD ベースの製品など)が、言語パックを使用して追加の言語に対応しています。

言語の選択には次の条件が適用されます。

- 各スイートのインストールは、1つの言語を使用します。1つまたは複数の製品を異なる言語でインストールする必要がある場合は、別々にインストールする必要があります。
- すべての配置は、1つの言語でなければなりません。1つの管理イメージが異なる言語の配置に対応することはできますが、それぞれの配置は1つの言語のみに対応します。

- 複数の製品をインストールし、いくつかの製品で対応していない言語を選択した場合、それらの製品では既定の言語が使用されます。
- インストーラの[製品情報]ページから出ると、言語を選択するまたは言語パックを追加するメニューが無効となります。後から言語を変更するまたは言語パックを追加することにしても、[製品情報]ページに戻り、これらのメニューを使用することはできません。このため、インストールをキャンセルし、再度インストーラを起動して、[製品情報]ページで適切な言語を選択する必要があります。

概要 - 言語パック

言語パックは、ユーザ インタフェースとドキュメントで使用される言語を変更するために、オートデスク製品に追加できるソフトウェア モジュールです。言語パックを追加することにより、製品ソフトウェアの1つのインスタンスが複数の言語に対応できるようになります。各言語パックは特定のオートデスク製品に対応し、インストーラを含んでいます。言語パックをインストールする前に、オートデスク製品をインストールする必要があります。各言語パックをインストールすると、Windows の[スタート]メニューに [Inventor - French (Francais)] というような別のアイコンが作成され、このアイコンを使用して、その言語で製品を起動することができます。製品によっては、製品メディアまたは Web サイトから言語パックを使用できます。

言語パックのインストーラには、特定の製品の言語パックの配置を作成するオプションがあります。言語パックの配置は、関連製品をインストールした後に、複数のコンピュータにインストールして、別の言語バージョンを追加できます。

ライセンスを指定する

以下の説明は、一般的な概要です。詳細は、ご使用の製品の『ライセンス ガイド』を参照してください。

ライセンスの種類

ほとんどのオートデスク製品は、インストールして、製品を評価するために 30 日間試用することができます。ライセンスを購入すると、ライセンスはユーザ固

有の番号を使用して、スタンドアロンまたはネットワークとして環境設定されません。これらのライセンスの種類を、以下に簡単に説明します。

- **スタンドアロンライセンス**は、1人のユーザの使用を目的としています。ライセンスを受けた製品は、同時に実行しない限り、複数台のコンピュータにインストールすることができます。
- **マルチシート スタンドアロン ライセンス**は、決められた最大数のユーザをサポートすることを目的としていますが、容易にアクセスできるように、より多くのコンピュータにインストールすることができます。
- **ネットワークライセンス**は、ネットワークに接続されたユーザの決められた最大数をサポートします。ユーザへのライセンスの配布を管理するには、ネットワーク上の1台または複数台のサーバに Network License Manager をインストールします。

ネットワーク ライセンス サーバ モデル

ネットワーク ライセンスを使用している場合、ライセンスの購入時に指定した Network License Manager のサーバ環境設定を選択することができます。

■ シングル ライセンス サーバ

1台のサーバがネットワーク上のすべてのライセンスを管理します。

■ 分散ライセンス サーバ

ライセンスは、ネットワーク内の複数台のサーバのプールに分散されます。プール内のそれぞれのサーバの名前を入力します。

■ 冗長ライセンス サーバ

3台のサーバがそれぞれのライセンスを認証できます。3台のサーバの名前を入力します。

環境設定とインストール

インストールパス

このパスは、製品がインストールされる場所を示します。場所を変更する場合は、インストールパスで有効な ASCII 文字のみを使用します。

環境設定

ほとんどの製品には、いくつかの環境設定があります。[インストール>インストールの環境設定]ページで、インストール対象として選択した製品に、環境設定パネルにアクセスするための三角形のコントロールが表示されます。



環境設定パネルを表示するには、製品ボックスの任意の場所をクリックします。多くの製品では、インストールの種類として、既定の環境設定を受け入れる**標準**と、設定を確認して修正するかどうかを決定できる**カスタム**のいずれかを選択できます。ご使用の製品の環境設定の詳細は、このガイドの付録に記載されている可能性があります。必要に応じて環境設定を行ったら、三角形をクリックして環境設定パネルを閉じます。

製品のアクティベーションを行う

オートデスク製品を最初に実行したとき、製品のアクティベーションを行うよう求められます。インターネットに接続されている場合、ご使用のコンピュータとオートデスクが直接通信を行い、アクティベーション処理が完了します。

ご使用のコンピュータがインターネットに接続されていない場合、後で接続したときにアクティベーションを行うことができます。いくつかの製品では、シリアル番号、リクエストコード、登録データを Web で送信するか、電子メールを使用してオフラインでアクティベーションを行うこともできます。アクティベーションの詳細は、[プロダクト アクティベーション](#)にアクセスし、FAQ リンクをクリックしてください。

配置を作成する

管理イメージ

管理イメージは、配置の作成処理で作成されるカスタマイズされたインストールファイルのセットです。それぞれのコンピュータに、プログラムの一貫した環境設定をインストールするために使用されます。その他の設定:

- **管理イメージのパス:** ネットワーク上の共有の場所で、フルコントロールの権利がある場所を指定します。プログラムをインストールするために、ユーザはこの場所にアクセスします。
- **プラットフォームの種類:** 配置を使用するコンピュータのオペレーティングシステムに応じて、32 ビットまたは 64 ビットのいずれかを選択します。
- **この配置環境設定に必要な製品のみを含める:** オンにすると、将来、追加の製品を含めるために配置を修正することができなくなります。オフにすると、管理イメージには可能なすべての製品が含まれ、将来、任意の方法で管理イメージを修正することができます。

インストール設定

- **サイレントモード**は、ユーザ入力なしに、インストールがバックグラウンドで実行されます。

重要: サイレントモードでは、インストール完了時に警告は表示されず、ユーザのコンピュータは自動的に再起動されます。

- **ログファイル**には、それぞれのコンピュータのインストールデータが記録されます。
- **ネットワークログファイル**は、配置を実行したすべてのコンピュータのインストールデータの主要な記録を保持します。これは、作成する配置と同じ名前で、ユーザが変更の権利を持っている共有フォルダに置く必要があります。これにより、ユーザのコンピュータはログファイルに書き込めるようになります。

よくある質問と回答

ここで扱われていない事項についてアドバイスや支援が必要な場合は、[製品サポート情報](#) にアクセスし、ご使用の製品名をクリックして、ご使用の製品のナレッジベースで検索してください。

シリアル番号やプロダクトキーを紛失するとどうなりますか？

可能な場合は、製品のパッケージまたは購入記録を調べてください。または、[オートデスク カスタマー サービス](#) に連絡してください。

なぜ、製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか？

アクティベーションは、オートデスクのため、およびライセンス所有者であるユーザのために、オートデスク製品が有資格のコンピュータにインストールされたことを確認します。アクティベーション処理は、ライセンスの安全確保と管理を改善します。たとえば、マルチシート ライセンスが許可されたユーザ数を超えて使用されることを確実に防止します。

Web サイトからオートデスク製品をインストールできますか？

サブスクリプション、教育機関向け、オンラインストア、マイ アカウント、体験版サイトなど、複数のオートデスク Web サイトから製品をダウンロードできます。ダウンロードが可能な各サイトでは、各自の動作環境に合ったダウンロード方法を選択できます。ご使用のコンピュータに直接製品をインストールする場合は、Web インストーラを使用できます。後で製品をインストールしたり配置を作成するためにファイルをダウンロードする場合は、ダウンロードマネージャまたはブラウザダウンロードを使用できます。詳細は、ダウンロード Web サイトを参照してください。

試用ライセンスは、製品スイートまたはバンドルでどのように動作するのですか？

1つの試用期間、通常は30日間、がスイートまたはバンドルに含まれるすべてのオートデスク製品に適用されます。最初の製品を起動したときに、すべての製品の試用期間が開始します。試用期間が終了する前に製品の1つでもアクティベーションしなかった場合、どの製品にもアクセスできなくなります。試用期間の終了後にアクティベーションコードを入力すると、再び製品にアクセスできるようになります。

ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうすればよろしいですか？

単に間違っただけで正しくないライセンスの種類を選択し、まだインストーラを実行している場合は、[戻る]ボタンを使用して[製品情報]ページに戻り、ライセンスの種類を変更します。

インストールした製品のライセンスの種類を変更したい場合は、オートデスク販売パートナーまたはライセンス サプライヤーに問い合わせる新しいライセンスと新しいシリアル番号を入手します。次に、製品をアンインストールして新しくインストールを実行し、ライセンスの種類を変更して新しいシリアル番号を入力します。

インストールのあと、製品のライセンス情報はどこで確認できますか？

[ヘルプ]メニュー ▶ [バージョン情報]または[製品名]バージョン情報を選択します。ご使用の製品が[情報センター]を使用している場合は、[ヘルプ]メニューと同じ場所にあります。

インストールのあと、どうすれば製品の環境設定を変更したり、製品を修復またはアンインストールできますか?

- 1 Windows の[コントロール パネル]に進みます。
 - Windows XP: [スタート]メニューから、[設定] ▶ [コントロール パネル] ▶ [プログラムの追加と削除]を選択します。
 - Windows 7: [スタート]メニュー ▶ [コントロール パネル] ▶ [プログラム]/[プログラムのアンインストール]を選択します。
- 2 Windows の[コントロール パネル]で、製品名をクリックし、次に[変更と削除] (Windows XP)または[アンインストールと変更] (Windows 7)をクリックします。

インストーラがメンテナンス モードで開かれ、処理の過程で操作方法が示されます。

付録: Autodesk Mudbox をインストールする

2

Autodesk Mudbox 2013 固有のインストール情報

Autodesk® Mudbox® のインストール プロセスには、他のオートデスク製品とは異なる固有の項目があります。この章では、Mudbox ヘルプのコピーをダウンロードするプロセスと、32 ビット版の Mudbox を 64 ビット マシンにインストールする方法について説明します。

また、Mac OS X および Linux 用の Autodesk Mudbox のインストールについても説明します。

32 ビット版の製品を 64 ビット オペレーティングシステムにインストールする

64 ビット マシンには 64 ビット版の製品がインストーラによって自動的にインストールされますが、このデフォルトの動作を手動で上書きすることができます。スタンドアロンインストールの場合は、インストールメディアのルートフォルダに移動し、32 ビット版のインストーラを起動します。このインストーラのファイル名は、`Setup_32.exe` またはこれに類似した名前になります。配置の場合は、64 ビットのターゲットプラットフォームを選択し、32 ビット版の製品を指定することができます。

Mac OS X に Mudbox をインストールする

Mac OS X に Mudbox をインストールするには

- 1 次のいずれかの操作を行って、インストーラを起動します(受け取ったインストールメディアによって異なります)。
 - (DVD または USB)インストールメディアを挿入し、デスクトップに表示される Mudbox アイコンをダブルクリックします。
ドライブの Mudbox/MacOSX フォルダに移動します。
 - (ダウンロード)ダウンロード パッケージからインストールする場合は、Mudbox .dmg をダブルクリックします。
- 2 [ファインダ]ウィンドウで、Install Mudbox 2013 プログラムをダブルクリックします。

Mudbox のインストーラが開始されます。



- 3 Mudbox のインストーラの指示に従って、製品をインストールします。
たとえば、[ライセンス]ウィンドウで、次の操作を行います。
 - 11 桁のシリアル番号を入力します。
 - プロダクト キーを入力します。

- ライセンスの種類として、[スタンドアロン]または[ネットワーク]を選択します。

ライセンスの種類としてネットワークを選択する場合は、[既存のライセンス サーバを使用する]をクリックし、[サーバ名]フィールドにライセンス サーバ名を入力します。ライセンス サーバ名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ライセンス サーバの設定の詳細については、www.autodesk.com/me-administrator-2013-jpnにある『Autodesk ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。

- [続行]をクリックします。

- 4 インストールの成功を示す最後のウィンドウで、[完了]をクリックします。



注: インストーラの最後の画面に示されるように、Mudbox ヘルプはインターネット ベースのものです。[F1] または [F1]+[Fn] を押すか、[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択すると、ヘルプがオードデスク Web サーバから起動されます。信頼できるインターネット アクセスがない場合は、www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からヘルプのローカルコピーをダウンロードできます。

既定では、Mudbox は /Applications/Autodesk/Mudbox2013/ フォルダにインストールされます。

Linux に Mudbox をインストールする

インストールウィザードを使用して Linux に Mudbox をインストールする

Linux に Mudbox をインストールするには

- 1 次のいずれかの操作を行って、Mudbox のインストールを開始します(受け取ったインストールメディアによって異なります)。
 - (DVD/USB)インストールメディアを接続します。
 - (ダウンロード)圧縮ファイルから Mudbox パッケージを解凍します。
- 2 スーパーユーザとしてシェルを開き(su - を使用します)、パッケージを解凍したフォルダに移動します。

注: 最近の Linux ディストリビューションでは、ルートとしてインストーラを実行するために、完全なスーパーユーザ環境を必要とする場合があります。適切なレベルを取得するには、su - を使用します(最後にダッシュがあることに注意してください)。

- 3 ./setup と入力し、[Enter]を押します。

これにより、Mudbox のインストーラが開始されます。



- 4 Mudbox のインストーラの指示に従って、製品をインストールします。
たとえば、[ライセンス情報]ウィンドウで、次の操作を行います。
- 11 桁のシリアル番号を入力します。
 - プロダクト キーを入力します。
 - ライセンスの種類として、[スタンドアロン]または[ネットワーク]を選択します。
ライセンスの種類としてネットワークを選択する場合は、表示される [サーバ名]フィールドにライセンスサーバ名を入力します。ライセンスサーバ名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - [続行]をクリックします。



- 5 インストールの成功を示す最後のウィンドウで、[完了]をクリックします。
既定では、Mudbox は /usr/autodesk/mudbox2013 フォルダにインストールされます。

注: インストーラの最後の画面に示されるように、Mudbox ヘルプはインターネット ベースのもので、[F1] または [F1]+[Fn] を押すか、[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択すると、ヘルプがオードデスク Webサーバから起動されます。信頼できるインターネット アクセスがない場合は、www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からヘルプのローカルコピーをダウンロードできます。

rpm ユーティリティを使用して Linux に Mudbox をインストールする

rpm コマンドライン ユーティリティを使用すると、`-i` フラグまたは `-ivh` フラグを使用してプログラムをインストールできます。`-ivh` フラグを使用すると、インストール中に詳細な情報が提供されます。

rpm ユーティリティを使用して Linux に Mudbox をインストールするには

- 1 スーパー ユーザとしてシェルを開きます。
- 2 圧縮ファイルから Mudbox パッケージを解凍し、Mudbox パッケージを解凍したフォルダに移動します。
- 3 `ls` コマンドを使用してパッケージを一覧表示します。
- 4 必要なソフトウェアをインストールするには、Maya が既にインストールされているコンピュータに Mudbox をインストールするかどうかに応じて、次のいずれかのコマンドを入力します。

- Mudbox のみをインストールする場合は、次のコマンドを入力します。

```
rpm -ivh mudbox2013_64-2013-#.x86_64.rpm
adlmapps5-5.0.37-0.x86_64.rpm
adlmflexnetclient-5.0.37-0.x86_64.rpm
```

- Maya とともに Mudbox をインストールする場合は、次のコマンドを入力します。

```
rpm -ivh --force mudbox2013_64-2013-#.x86_64.rpm
adlmapps5-5.0.37-0.x86_64.rpm
adlmflexnetclient-5.0.37-0.x86_64.rpm
```

- 5 OpenGL がインストールされていることを確認するために、`libGL.so` という名前のファイルを `/usr/lib/` または `/usr/X11R6/lib` フォルダで探します。
- 6 このセッションの共有ライブラリを設定するために、`/opt/Autodesk/Adlm/R5/lib64/` を `LD_LIBRARY_PATH` に追加します。たとえば、BASH シェルで次のコマンドを実行します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/Autodesk/Adlm/R5/lib64/
```

- 7 次のコマンドを実行し、オートデスク ライセンス ソフトウェアを使用して Mudbox を登録します。 `<productKey1>` および `<productKey2>` はプロダクトキー、`<serialNum>` はシリアル番号です。

注:

スイートの一部として Mudbox を購入した場合は、 **productKey1** として Mudbox のプロダクト キーを入力し、 **productKey2** としてスイートのプロダクト キーを入力します。

Mudbox のみを購入し、受け取ったプロダクト キーが1つだけの場合は、 **<productKey1>** と **<productKey2>** の両方に Mudbox のプロダクト キーを入力できます。

■ スタンドアロン ライセンス

```
/usr/autodesk/mudbox2013/bin/adlmreg -i S  
<productKey1> <productKey2> 2013.0.0.F <serialNum>  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2013/MudboxConfig.pit
```

■ ネットワーク ライセンス

```
/usr/autodesk/mudbox2013/bin/adlmreg -i N  
<productKey1> <productKey2> 2013.0.0.F <serialNum>  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2013/MudboxConfig.pit
```

例:

```
/usr/autodesk/mudbox2013/bin/adlmreg -i S 498E1 498E1  
2013.0.0.F 000-00000000  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2013/MudboxConfig.pit
```

この手順により、製品情報が記述された .pit ファイルが更新されます。このファイルは、Mudbox のインスタンスを多数インストールする場合に、同じ構成になっている別のマシンにコピーすることができます。

これらのコマンドは、登録が成功したことを示すメッセージを返します。その後、スタンドアロンライセンスまたはネットワーク ライセンスを使用して Mudbox を実行できるようになります。

Linux に関するその他の注意

このセクションでは、Linux で実行する Mudbox の設定に関する情報、Linux 用の Mudbox とその他のバージョンの Mudbox との違い、Linux オペレーティング システムでの Mudbox の使用において固有なその他の情報について説明します。

QT を設定する

SDK を使用してプラグインを作成する場合は、QT 4.7.1 をマシンにインストールします。さらに、必要に応じて `.bashrc/.cshrc/.tschrc` ファイルに `QTDIR` を定義する必要があります。`QTDIR` は、QT が格納されているマシンのフォルダに設定する必要があります。QT を「スタンドアロン」の場所にインストールした場合、そのフォルダは `QTDIR=/usr/local/Trolltech/Qt-4.7.1/include` となります。

プラグインの作成とロード

- Mudbox 2013 SDK を使用して作成したプラグインには、GCC 4.1.2 コンパイラが必要です。
- Mudbox を起動したときに、プラグイン失敗に関するエラーが発生した場合、SELinux 強化関数を無効にするか、「許容」に設定します。[システム] > [管理] > [SELinux Management](の下にある SELinux 管理パネルを使用してこれらのオプションを設定することができます。)

ラーニング ムービー

Linux プラットフォームの Mudbox ウェルカム画面にある 1 分間のラーニングムービーを再生するには、これらのムービー ファイルを認識するメディアプレイヤーが必要です。

動作の違い

Linux システムにインストールされた Mudbox は、Windows にインストールされた Mudbox とほとんど同じように動作します。オペレーティングシステムの違いによって、表示されるユーザ インタフェースがわずかに異なっている場合があります。たとえば、ファイル ブラウザはそれぞれのオペレーティングシステムに固有のものとなります。

Mudbox ヘルプ°をローカルにインストールする

既定では、Mudbox はオートデスクの Web サーバを呼び出して Mudbox ヘルプを表示します。ヘルプを表示するには、インターネットにアクセスする必要があります。これにより最新バージョンのヘルプが得られ、オートデスクがソフトウェア リリースの間にヘルプの更新を行えるようになります。

信頼できるインターネットアクセスがない場合は、オートデスクの Web サイトから Mudbox ヘルプをダウンロードして、次のようにローカルにインストールします。

Mudbox ヘルプをインストールする準備を行う

Mudbox ヘルプをインストールする前に、必ず次の操作を行ってください。

- Mudbox をインストールします。
- ご使用のバージョンおよびプラットフォームに対応する Autodesk Mudbox Japanese 実行可能ファイルを、www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からダウンロードします。このファイルにより、32 ビットシステム用および 64 ビットシステム用の Mudbox ヘルプがインストールされます。

Mudbox ヘルプをインストールする

(Windows)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からヘルプ インストーラをダウンロードして実行し、インストーラの指示に従います。
既定では、Mudbox ヘルプは **Program Files\Autodesk\Help\mudbox<バージョン>** フォルダにインストールされます。
- 2 Mudbox を起動します。
- 3 [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
- 4 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 5 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。
ローカルの Mudbox ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

(Mac OS X)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からダウンロードした Autodesk Mudbox Japanese Documentation .dmg ファイルをダブルクリックします。
Mudbox ドキュメントのディスクイメージがデスクトップ上にマウントされます。
- 2 ディスク イメージをダブルクリックします。

- 3 開いている[ファインダ]ウィンドウにあるパッケージ(.pkg) ファイルをダブルクリックします。
- 4 表示されるヘルプ インストーラの指示に従います。
既定では、Mudbox ヘルプは **/Applications/Autodesk/Mudbox<バージョン>/docs/mudbox<バージョン>/ja_JP** フォルダにインストールされます。
- 5 Mudbox を起動します。
- 6 [Mudbox]>[環境設定]を選択して、[Preferences]ウィンドウを開きます。
- 7 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 8 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。
ローカルの Mudbox ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

(Linux)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語)からダウンロードした圧縮ファイルから Mudbox ヘルプのパッケージを解凍します。
- 2 スーパー ユーザとしてシェルを開き(su -を使用します)、パッケージを解凍したフォルダに移動します。
- 3 ./setup と入力し、[Enter]を押します。
- 4 表示されるヘルプ インストーラの指示に従います。
既定では、Mudbox ヘルプは **/usr/Autodesk/Mudbox<バージョン>-x64/docs/mudbox<バージョン>/ja_JP** フォルダにインストールされます。
- 5 Mudbox を起動します。
- 6 [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
- 7 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 8 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。
ローカルの Mudbox ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

注: Mudbox ヘルプ ファイルを手動でコンピュータにコピーした場合、または自身のマシン以外の場所からヘルプにアクセスしたい場合(たとえば、ネットワーク上の共通の場所を指定したい場合など)は、[ヘルプの場所]基本設定を[カスタム]に設定することもできます。「Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールする」の手順を参照してください。

Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールする

Mudbox ヘルプは、複数のユーザがアクセスできるようにするために、内部ネットワークや Web サーバなどの共有の場所にインストールできます。その後、個々のシステムの[Mudbox ヘルプ]基本設定を、共有の場所からアクセスするよう設定できます。

Mudbox ヘルプの共有の場所のフォルダパスを指定する際には、以下の点に注意してください。

- パスがヘルプの場所を直接指すようにする。たとえば、
¥¥CompanyServer¥SharedLocation¥MudboxHelp¥docs¥Mudbox<バージョン>¥ja_JP にします。
エイリアスパスは使用しないでください。
- パスが、index.html ファイルを含むフォルダを指すようにする。たとえば、日本語版の Mudbox ヘルプを指すパスの最後は ¥ja_JP フォルダになります。
- Web サーバの場所に http または https プロトコルを使用する。

Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールするには

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn (英語) からヘルプ インストーラをダウンロードして実行し、インストーラの指示に従います。
- 2 Mudbox ヘルプ ファイルのインストール先をたずねられたら、[変更] (Windows) または [参照] (Linux) をクリックし、ヘルプの共有の場所を指定します。

注:

Mac OS X では、ヘルプは既定の場所にしかインストールできません。Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールするには、最初に既定の場所 (`/Applications/Autodesk/Mudbox<バージョン>/docs/mudbox<バージョン>/ja_JP`) にインストールしてから、docs フォルダを手動で目的の場所にコピーする必要があります。

その後、各ユーザは、共有の場所から Mudbox ヘルプにアクセスするよう [ヘルプ]基本設定を設定できます。

共有の場所から **Mudbox ヘルプ**にアクセスするには

- 1 Mudbox を起動します。
- 2 (**Windows** および **Linux**) [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
(**Mac OS X**) [Mudbox]>[環境設定]を選択して、[Preferences]ウィンドウを開きます。
- 3 [ヘルプ]セクションを展開し、[ヘルプの場所]を[カスタム]に設定します。次に、Mudbox ヘルプの共有の場所を[ヘルプパス]フィールドに入力します。
- 4 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウ (Windows およびLinux)、または[Preferences]ウィンドウ (Mac OS X)終了します。
これで、Mudbox ヘルプが共有の場所からアクセスできるようになります。

Mac OS X または Linux の Mudbox をアンインストールする

Mac OS X の **Mudbox** をアンインストールするには

- 1 Mudbox フォルダ(既定は、 /Applications/Autodesk/Mudbox2013/)に移動します。
- 2 Mudbox2013 アプリケーションをゴミ箱にドラッグにします。
- 3 ターミナルウィンドウを開き、次のコマンドを入力します。<productKey> はプロダクト キーです。

```
adlmreg -u S <productKey> 2013.0.0.F  
adlmreg -u N <productKey> 2013.0.0.F
```

これにより、製品情報が ProductInformation.pit ファイルから適切に削除されます。

Linux の Mudbox をアンインストールするには

Linux の Mudbox をアンインストールするには、rpm ユーティリティを使用します。

- 1 スーパー ユーザとしてシェルを開きます。
- 2 このセッションの共有ライブラリを設定するために、`/opt/Autodesk/Adlm/R5/lib64/` を `LD_LIBRARY_PATH` に追加します。たとえば、`export LD_LIBRARY_PATH=/opt/Autodesk/Adlm/R5/lib64/` コマンドを実行してこの操作を行います。
- 3 以下の 2 つのコマンドを実行します。<productKey> はプロダクト キーです。

```
/usr/autodesk/mudbox2013/bin/adlmreg -u S <productKey>
2013.0.0.F
```

```
/usr/autodesk/mudbox2013/bin/adlmreg -u N <productKey>
2013.0.0.F
```

- 4 次のコマンドを入力して、インストールされているパッケージの名前を一覧表示します。

```
rpm -qa |egrep 'adlm|Mudbox'
```

- 5 アンインストールするパッケージ名をすべて特定します。たとえば、`Mudbox-2013-#` パッケージなどです(# はパッケージ番号です)。
- 6 次のコマンドを使用して、パッケージをアンインストールします。

```
rpm -e PackageName
```

その他の Mudbox リソース

以下に示したその他の Mudbox リソースをオンラインで入手できます。

- Autodesk Mudbox 2013 のヘルプ(www.autodesk.com/mudbox-help-2013-jpn)
- 最新の認定ハードウェアおよびオペレーティング システムのリスト(www.autodesk.com/mudbox-systemreq-2013-jpn)
- Mudbox インストールヘルプ(www.autodesk.com/mudbox-install-2013-jpn)
- Mudbox ライセンス情報(www.autodesk.com/me-licensing-2013-jpn)

索引

L

Linux 23

M

Mac OS X 22

Mac OS X, Linux 11

Mudbox ヘルプ

ローカル インストール

ローカル インストール 18

Mudbox をアンインストールする 22, 23

W

Web ベースのインストール

あ

アクティベーション

アンインストール, 製品を

い

インストール ログ

インストール処理の図

お

オペレーティング システムの選択

か

カスタム設定

環境設定

管理イメージ

け

言語

さ

サイレント モード

し

修復, 製品を

冗長ライセンス サーバ

情報センター

シリアル番号

シングル ライセンス サーバ

す

スイート

スタンドアロン ライセンス

せ

製品の設定

た

ダウンロード マネージャ

つ

ツールとユーティリティ

と

動作環境
ドキュメントへのリンク

な

ナレッジベース

ね

ネットワーク ライセンス

ひ

標準設定

ふ

分散ライセンス サーバ

へ

変更
ライセンスの種類

ら

ライセンス サーバ モデル
ライセンスの種類
変更

ろ

ログ ファイル